

尉頭を撃ちて疏勒を定めたり。

章帝の建初五年(八十一年)疏勒都尉番辰復た反す。超大に之を破る。同六年超、莎車を攻めしが、忠彼と通ずるを以て超、其の府丞成大を立て、王とし、元和元年(六十四年)超、遂に忠を殺す。安帝の元初中(百十年)疏勒王安國、舅の臣磐罪あるを以て、月氏に徙す安國死して子無く、其の母國柄を保ち、國人と議し臣磐の弟の子、遺腹を立てて王と爲す。月氏兵を率ゐて臣磐を納る。國人又遺腹を捨て、臣磐を立つ。後、莎車、于闐に叛いて疏勒に屬し、疏勒遂に強國と爲る。

順帝の永建二年(百二十年)臣磐來朝し、五年其の子を遣して入侍せしむ。靈帝の建寧二年(百九十年)臣磐、季父和得に殺され、和得自立して王と爲る。同三年漢之を討て破れ、疏勒大に驕るも、漢亦禁止するを得ず、北魏の文成帝和平末年(四百四十年)其王、釋迦牟尼佛の袈裟を貢し。隋の煬帝大業中(六百十年)王、阿彌厥來朝す、次て唐の貞觀九年(六百三十五年)王、裴阿那名馬を奉る。儀鳳中(六百七十年)吐蕃其國を陥れ、武后の長壽二年(六百九十三年)王、孝傑吐蕃を破り、始めて國を復す。玄宗の開元十六年(七百十八年)其の酋安定を立て、王と爲し、天寶十二年(七百三十五年)首領裴國良を遣して來朝せしが、以來史に見え